**北大生協2022年度 第５回定例理事会　発言録**

1　日時　2022年10月19日（水）　19:00～20:26

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事は、webテレビ会議システムにより出席した。

　　　　　　　　　古川美香子理事（北大、研究室）

　　　　　　　　　小澤隆生理事（北大、研究室）

コリー　紀代理事（自宅、札幌市白石区）

今村 央理事（自宅、北海道函館市）

3　出席役員

理事総数　　20名中20名出席

（出席理事）坂爪浩史理事長、小助川誠専務理事、鏡秀隆常務理事、林忠一常務理事、井崎貴皓常務理事、

田代直也常務理事、金川眞行理事、小篠隆生理事、伊藤美香理事、今村央理事、

髙木暉馬理事、石本万象理事、野呂香綸理事、逸見京花理事、羽木康祐理事、原拓也常務理事、小松慎太郎常務理事、小川美香子理事、コリー紀代理事、奥山莉子理事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）なし

監事総数　　5名中5名出席

（出席監事）芳賀永監事会議長、岡野泰樹監事、浦田翔吾監事、黒川昇悟監事、寺西ほの花監事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）なし

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、齋藤店舗事業部部長、

神田マネージャー、百石マネージャー、村田礼二マネージャー、片木圭二理事会室室長

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同等に充分な意見交換ができることを相互に確認した。

４　議長　小松常務理事

５　上記の通り理事の出席があり、理事会規則第8条に基づき本理事会は成立した。

18時15分に理事会規則の規定により、議長に小松常務理事を選任した。小松常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

●キャリアサポート店の事業紹介

（金川）とてもいいお話でした。久しぶりに生協でいい話を聞いたなと思っています。特に最後のスライドがいいですね。今後の課題のところで受験生の満足度を意識し続けるというところなのですが、正しく理事会に突き付けられている「組合員の満足度を意識し続けることが我々理事会の使命」で、非常に良い発表だったと思います。一つだけ質問なのですが、公務員試験の対象に本学の事務職というのは入っておりますか？

一次に分かれているこのコースで言うと、行政職総合のカテゴリでしょうか？

（鷲見）全コースから毎年大学法人、北大を受けますという方がいらっしゃいます。いまも働いている方が何人かいらっしゃいます。

（金川）うちの職員、非常に本学の卒業生が多くなってきていまして、私の職場でもこの春新規で採用した人が二人とも北海道大学出身です。ほかにもたくさん北大出身がおります。

（鏡）公務員を目指している学生さんはこの中にいらっしゃいますか？

（小松）僕は受講生なのですけど、ちょっと不真面目な受講生です。鷲見さんや高橋さんからめちゃくちゃメールが来るので受講生のフォローというのは、書いてあるとおりしっかりやってくれています。個人的にはそろそろ頑張るので許してください(笑)

（鏡）強く指導してあげてください（笑）以上鷲見さんの報告でした。

●サクラマスの試食会

（金川）私は醤油をかけなくても充分でした。ただ、このままだと学生さんにはちょっと味気ないかもしれません。自分が学生時代のころは魚よりも肉を出してくれと思っていたので。そういう学生さんには少し物足りないかもしれません。

（林）魚のメニューがないという声も聴いていたので、少しでもメニューを増やされればと思います。

（金川）はっきりここでこういう風に育てて使っていた魚をみんなに食べてくださいと宣伝や紹介はつけないとなりませんね。そういう風に触れ込んでいけば、食べてくれる人が増えるのではないかと思います。

（鏡）学生さん、感想はいかがですか？

（原）結構淡泊な味だったのでフライがいいのではないかと思いました。

（林）実は「カフェdeごはん」ではこれを使ってムニエルを出そうとしています。北大バターというのがあるのでできればそれをいたいなという話をしています。意外とカルパッチョとかもいいかなと思うのですが、生協の食堂でカルパッチョっていうのも(笑)

（奥山）マリネとかもいいですね。

（林）マリネ、いいですね！脂がないので燻製にも向いていると言われています。だんだん肴の話になっちゃうのですけど。

（髙木）味すごく良かったですし、見た目も皮がピンク色で可愛かったです。贅沢は言わないのですが、ぜひキャビアがあれば…(笑)

●討論事項：生協電子マネー　ポイント政策について

（金川）今の説明で行くと、広く浅くポイントを付与するようにするけれど、現状と還元するポイントは変わらないので営業に対する影響はほぼないので、この新しいやり方にさせて欲しいという提案ですね？

（齋藤）なにもイベントをしない場合は持出とかも特にないので色々なものを打ち出せば利用も増えるという前提で、還元率を上げるということなので、そのような運用をしていきたいという考えです。

（金川）現状とおりにやっても影響はないし、更に新たなことに打って出られる可能性が高くなるのでこういったポイントの付け方にしたいということですね。

（齋藤）はい。

（坂爪）私が常務会の時に無理を言って、全部にポイントが付与されるようにして欲しいとお願いをして設計していただいたのですけど、ミールは、ミールのお金を年度当初に支払ったときにポイントが発生するのではなくて、利用の時に付くということで良いですね？

（齋藤）そうです。

（金川）ミールカードは最初に買ったときもすでにプレミアがついているのに、更に使うときに0.1％ポイントのポイントがつくということですね。より還元率が高くなるということですね。

（坂爪）つまり、ミールでごはんを食べるときにはお金はいらないのにポイントが返ってくると…。そういうこと？

（齋藤）そういう理屈になると思います。

（奥山）Ｐ28のところの変更後のポイント付与方法ですが、電子マネーは「ピッ」ってするやつだと思っているのですが、ICカード不使用の場合はというのは、どういう想定のでしょうか？

（齋藤）現状、書籍はどんな形態でお買い物をしても私費は５％還元されているので、基本的にそれは継続する。今回の仕組みになると電子マネーの場合で＋０．５％付与が高くなる、というイメージです。

（石本）現状、どういうポイントシステムになっているのかというのが学生はあまり知らないというか、理解せずに何となく得そうだから使っているという感じなので、変更するときにこのシステムをかなり広く周知して頂けるとより利用が促進されるのではないかと思います。

（齋藤）伝えるのに結構注釈が多くて、よくわからんというのと、接客の時に伝えきれないというのがけっこうネックになるのかなというのがあって、何でもこれで買ってねというだけで、ポイントが付くのだというイメージが浸透しやすいのかなと個人的には考えていました。

（奥山）同じところで、学生からしたら、１ポイントつくというのだけぼんやり知っていて、何にそのポイントがつくのかを知らない人が多くて、単純に０．５％となると減ってしまったみたいな印象になりうるなと。全商品にポイントが付くということをもっと打ち出していくというか、伝え方を工夫する必要があるなと思いました。結果的には変わらないというのが今の説明で理解できたので、それをより広く知らせる必要があるなと思いました。

●教職員委員会報告

（金川）質問とかではないのですが、加入率のキャンペーンの話なのですけど、組織ごとの加入率を出して、それを部局長あてにお知らせして各部局において加入促進を図って頂くという風にできないものかなと。というのは、以前鏡さんに見させてもらったら２７％しか組合に加入していないということがわかり、員外利用が多く、みんなIDで組合員として使っているので、実質員外利用が多いです。これって本来のものではないので、そこを解消するには大学と委託契約を結んで福利厚生の業務を行っている以上は組合に加入してその上で利用してもらうようにしないと、職域生活協同組合として違法になるので、ここは大学に「組合員になる活動を協力してもらえるようお願いできる」建前として成り立つのではないかと思うので、赤字解消のために３年計画を立ててこれから生協が頑張らなければならないというところと、あわせて組合員に加入促進を図ってほしいという所について協力を願いたいというのを部局室に足を運んで一か所一か所お願いしに行くことぐらいをしないとなかなか増えないのではないかと思いますがどうでしょうか？

（片木）組合員の登録システムはもちろん部局を登録することはできるのですが、正確に把握が出来ていません。

（鏡）異動された方は、自己申告して頂かないとデータの更新ができていないです。

（金川）事務職員の異動はオープンになっていて、毎回発令があると名簿など、どこからどこに行ったというのは出ているので、都度こちら側で更新していけば追うのは可能だと思います。一度初期の名簿さえ押さえてやれば、そこまでやらなければ本当に生協を利用していない人間にとっては関係ない話としか思っていませんので、そこまでやらないと５割までいかないのではないかなと思います。今の概算の３割ぐらいしかいないというだけでなかなか個人情報なので追いかけることができないのだけども、このままだと員外利用が多すぎて何か𠮟責でも受けると生協としてやっていけなくなることもあるので、大学に協力を仰ぐのは理論上成り立つのではないかと思います。

（小助川）職員名簿を貰えればそういうことをちゃんとやることができたのですけど、今は名簿を頂けません。しかし、重要なことだと思いますので、突合せで最終の着地地点がどこになるのかというところを勉強させてもらいました。

（金川）最初の名簿作成には時間がかかるところでいいのですが、まずはお願いしてあるくというのが大事かなと思います。電気の使用量の報告があったのですけど、経営を圧迫するほどの電気料のＵＰではないですよね？

（小助川）電気使用料ですが、たとえば前年に比べても電気使用量が増えているところで、燃料調整費の関係で単価が下がっていない限りは上がっている傾向なので、実績としては上がるという事になります。月は違うのですが４２Ｐに９月の損益の計算書の水道光熱費の項目の物件費のところの表ですが、前年からいうと１００万あがっている。％でいうと３８％ＵＰです。予算としては営業時間が延びるということで、食堂などは高めに組んではいたので予算対比だと４０万弱にはなっていますが傾向としてはこういった形になっています。これは月別なので、年ですと１千万くらいの影響が出てきています。

●報告事項全体を通しての質問

（金川）アルコールチェックは見積にアプリもあるので、チェックした後は自分でアプリに登録したりするのでしょうか？

（鏡）チェックをするとスマホをと連携しており、本部の管理画面の方にデータが流れてくる仕組みになっています。本人は息を吐くだけになります。

（金川）もし、ＮＧが出たらその人は運転できないのでしょうが、それはだれがチェックしてどういう指導をされるのでしょうか？

（鏡）チャーター車で自宅を出るときから乗ってくる方もいらっしゃるので、そういう方は自宅でチェックをするのですが、基本的にはここから出発するので、所属長が管理をする形になります。それは内規で管理をするということになります。なにかアドバイスがあればお願いします。

（金川）いえ、特にありません。これでいくと皆さん、二日酔いの日は乗れなくなるのだなと思いました（笑）航空会社のCAさんでも飛行機にのれないというのが発生しているくらいですから、巷でも出るではないかなと思っています。まあ、学内は自転車で回れないこともないので…

（鏡）自転車もダメです(笑)

（金川）じゃあ歩きですね(笑)

（奥山）新学期のＰＣのところなのですが、聞き逃した気もするのですが、学生が持ち歩く回数が少ないというところで、私の周りはデスクトップを使っている方が多いのですが、研究とかでもデスクトップの方が、計算が早いので、自宅生でも自宅外生でもデスクトップPCを自前で用意している人が多い中で、質問項目として「ノートパソコン限定」としている聞き方なのか「ＰＣ」という聞き方なのかで結果が変わってくるのではないかなと思いました。

（齋藤）ＰＣというだけで聞いています。

（奥山）今年じゃないにしろ、デスクトップという形でも聞いてみたらいいのではないかなと思います。

（齋藤）ありがとうございます。デスクトップを使っていらっしゃる学生の方いらっしゃいます？院生になるとどっちもという方が多くなりますね。対面授業だけども、パソコンで出席をしなくてはならないというのもあって、結局持ち歩かなくてはならないという前提で、授業を組むという話は聞いているので生活必需品として、筆記用具と同じようなレベルになってきているなというのは感じます。

以上